

**問** 児童・生徒による事故・事件の内容と対応はどうか。

**教育長** 平成17年度の事故報告の記録は、児童・生徒の交通事故は19件。不審者の

情報も22件、その他、校内でのけが等について数件の報告がある。児童・生徒の安全対策は、毎月の校長会議で、組織的な安全指導の徹底を図るよう、各学校に

繰り返しお願いしている。**問** 市全体の防災訓練の実施はどうか。

**市長** 市全体での防災訓練の必要性を深く認識している。昨年度は大谷流区、今年度は5区がそれぞれの地区と消防団を中心とした防災訓練を実施した。今後も

関係機関と深く協議検討し



▶5区での防災訓練

ながら「安心して暮らせる街づくり」に取り組んでいきたい。

**商業**

**問** 八街駅北口核施設の申し込み状況はどうか。

**市長** 商業核施設用地としての面積は、約5千600㎡であり、その区画については、18年度末までに既存の建物等の移転を完了し、

19年度に土地の整地や施設整備を行い、その後土地の使用を開始する予定です。関係者と協議を行い、企業へのアプローチ等について検討していきたい。

**問** 仮称「ガーデンシティリゾートザ・モールオブジャパン酒々井」の出現による商業対策をどのように検討しているのか。

**市長** 現在のところ大規模集客施設の具体的な計画は発表されていないが、東関東自動車道酒々井インターチェンジの完成が2010年という情報は得られているので、これにあわせて行われるものと推定している。また、オープンした場合には、

当市商業に対する影響は少なからずあるのではないかと推定するので、本市とし

て、特色ある個店づくりや空き店舗活用事業など高齢者が利用しやすい地域に密着した商店街づくりに関する事業について、できる限りの支援をしていきたい。

**高齢者の生きがい対策の充実**

**問** 介護予防事業の充実に、どのように取り組んでいくのか。

**市長** 介護予防高齢者施策は、高齢者人口の概ね5%を対象に「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」「閉じこもり予防・支援」等を目指すものであり、本年度は「運動器の機能向上」と「栄養改善」の2つの事業を実施していきたい。介護予防一般高齢者施策は、すべての高齢者を対象とするもので、介護

予防に資する基本的な知識を普及啓発するため、パンフレットの作成・配布や各利用者の介護予防事業の記録等を記載する介護予防手帳の配布を実施したい。

**問** 元気な高齢者の生きがいづくりに、どのように取り組んでいくのか。

**市長** 魅力ある老人クラブを目指して、新会員の加入

促進を図り、組織の拡充・強化をして、さらに活動内容の充実を図れるよう支援していく。また、老人福祉センター、老人憩いの家、シルバー人材センター、中央公民館等を活動拠点とした、健康増進、教養の向上、自らの健康を自ら守るための健康作り等の活動を積極的に支援していきたい。

**問** 高齢者在宅福祉サービスの充実に、どのように取り組んでいくのか。

**市長** 長期にわたる高齢期を、だれもが住みなれた地域で、安心して自立し、豊かな生活の送れる社会の実現に向けて、保健・医療・福祉・教育等各分野の連携を図りながら、高齢者福祉の支援体制の整備に努めていきたい。

**教育**

**問** 教育センターの独立についてどうか。

**教育長** 八街市教育センターは、昭和40年代より教職員の研究や教育関係の調査・研究を行っている組織である。教育センターを独立させることは現状では困難であるが、将来的には建設的なご提言であると考

るので、前向きに検討する。**問** 読解力・問題解決能力・知識を活用する力についてどうか。

**教育長** 基礎的・基本的な知識・技能を繰り返し教えていかななくてはなりません。そのために総合的な学習の時間を活用したり、コース別の学習を取り入れたりして、子どもたちの能力に適切な指導を充実させていく。**問** 個性や才能を伸ばす教育の推進はどうか。

**教育長** 児童・生徒理解のもとに、毎日の授業を通して、さらに学校教育全体の活動の中で個性や才能を伸ばす教育活動を実践している。連携教育の継続指導6項目を通して、日常生活の基本を身につけさせたい。

**問** 学校以外での勉強時間の確保についてどうか。

**教育長** 日本の子どもは家庭学習の時間の少なさは、昨今の国際学力調査でも指導されている。今年度は、小中連携教育の中で、算数・数学を中心とする教科の連携がスタートし、その中で基礎・基本の定着のために、家庭学習のあり方に注目を取り組んでいる学校もある。今後も保護者

の協力を得ながら、家庭学習の必要性を説き、学習意欲や習慣を形成し、子どもたちの学力を向上させていきたい。

**個人質問**  
**山本 正美**

**商工業の振興**

**問** 空き店舗を活用した商店街の活性化支援策に今後どのように取り組んでいくのか。

**市長** 商店のにぎわい促進を図るための施設及び住民が必要とする子育てサービ

スや高齢者交流等のためのコミュニケーション施設、高齢者や障がい者によるコミュニケーションビジネスに対応した施設

の設置運営を空き店舗を活用して行う場合には、県及び市における「地域とともに生きる商店街支援事業補助金制度」により、その

店舗の改修費用や家賃に対し、支援している。今後も関係機関と十分協議をしながら、取り組んでいきたい。

**問** 市内中小商工業の経営の近代化に今後どのように取り組んでいくのか。

**市長** 商工会議所及び中小企業相談所の事業運営に対して支援をしている。